

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	総務部管財課	氏名	古満 繁
派遣先団体名	特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい		
① 研修の日時			
② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)			
日時	内 容		
7月25日(月) 14時～21時	同法人が困難を抱える若者支援事業として経営する古書店が、地域のお祭りに臨時古書店を出店。そのスタッフとして、古書の販売、準備片付けを行った。当日は、雨模様で思ったほどの客足はなかった。		
8月29～31日(月～水) 9時～17時15分	障がいのある児童(学齢期)の放課後時間、長期休暇を活用した療育の場「放課後等デイサービス」で、児童の見守りを3日間行った。障がいのある児童であるため、児童一人に一人の指導員が見守る体制を取っており、スタッフの指導を受けながら、2日間は小学2年生の男子を、最終日は中学3年生の男子を担当した。小2の子とは、終日(夏休みであったため)、プロレスごっこ、怪獣の人形、プラレール、ミニカー等で遊んでいた。中3の子とは、他の中高生とともにホームセンターへ買い物(花の苗、プランター)に出かけ、午後からは植え付け、公民館の草取りを行った。		
* 事前に計画していた、情報誌の編集取材補助については、日程が合えば実施することとなった。			
③ 研修の感想(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)			
<p>これまで公私とも障害者の方と直に接したことがなく、公務員としても一人間としても視野を広げないといけないのでは、という思いからこの団体を研修先にさせていただいた。担当した小2の児童は、こちらの伝えたいことは8割方伝わっているようだったが、自分の意思をことばにできない。活発に行動する明るくやんちゃな男の子だが、知的レベルは2歳くらいだろう。中3の生徒は、小学校低学年レベルの漢字は書ける、二桁の掛け算割り算はできる。こちらの意図は100%伝わる。反抗も全くなくおとなしい。が、しゃべることが極端に苦手。こうした子達に自分は何ができるのか自問自答したが、結局答えは見つからなかった。むしろ、今の自分は何もできず、一市民として納税義務を果たし、専門家にお任せするしかないと感じた。ただ、障害者や障害者支援の実態について、今後、勉強してみようと思う。</p> <p>こうした現場に出かける研修の意義は大きい。座学の研修より、実地で体を使うことで現実がよく見える気がする。若い職員には、職務で経験したことがない分野の研修先に出かけてほしい。</p>			
④ その他特記事項			
(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)			
特になし			

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	総務部管財課	氏名	古満 繁
派遣先団体名	特定非営利活動法人プロジェクトゆうあい		
① 研修の日時 ②研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)			
日時	内 容		
11月11日(金) 9時～16時	<p>同法人が発行する、まち歩きバリアフリー情報誌「てくてく日和」の取材に同行。「てくてく日和」は、同法人の障がい者職員が山陰の観光地を取材し、観光情報だけでなく、障がい者の視点で観光しやすい町になっているか(身障者用駐車場、車いす対応トイレの状況、歩道の段差の有無 等)を紹介するフリーペーパー。</p> <p>この日は、境港市の水産物直売センター、鬼太郎ロード、水木しげる記念館等の取材に同行し、全盲障がい者の「手引き」を務めた。手引きとは、全盲の方が安全に行動するためのガイド役で、私の左腕の肘をつかみ行動してもらうもの(イメージとしては盲導犬に近い)。</p>		
11月30日(水) 9時～16時	<p>情報誌「てくてく日和」への広告営業活動に同行。中村ブレイス(大田市)、千畳苑・石見観光振興協議会(いずれも浜田市)、古代出雲歴史博物館(出雲市)を訪問。</p>		
② 研修の感想(研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。)			
<p>手引き役は初体験であり終始戸惑いつつで、ご迷惑をおかけした。まず、安全第一を心がけたが、どの施設も大きなバリアはなく、特に安全に配慮する場面はなかったように思う。むしろ途中からは、全盲の方に状況を伝えること(なるべく詳細に言葉で伝える、場合によっては商品等を手で触れてもらう)に注意しながら行動した。ただ、正確に伝えようとしても語彙、表現不足で、伝わってないだろうなあと感じる場面が多々あった。全盲の方にとって、手引き者の役割、責任はとても重いことを実感する研修だった。</p> <p>広告営業は、訪問先が本誌の役割を理解していただいていたことから、交渉は円滑にスタートしていた。当然の話ではあるが、広告主は本誌の内容と自社の事業がマッチしているか、本誌への広告掲載が企業イメージの向上につながるか、といった広告効果をシビアに考えていた。</p> <p>研修全体をとおし、今後、障害者支援の実態について勉強し、理解を進め、自分なりの障害者支援を考えたいと思っている。</p> <p>お忙しいなか、研修を受け入れてくださったNPO法人プロジェクトゆうあい様にこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。</p>			
③ その他特記事項			
(※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)			
特になし			